



# 令和3年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）



令和2年10月26日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社コーエーテクモホールディングス  
 コード番号 3635 URL <https://www.koeitecmo.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 襟川 陽一  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役専務執行役員CFO (氏名) 浅野 健二郎 TEL 045-562-8111  
 四半期報告書提出予定日 令和2年11月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

## 1. 令和3年3月期第2四半期の連結業績（令和2年4月1日～令和2年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
令和3年3月期第2四半期	23,141	39.7	8,447	145.6	15,289	151.6	11,845	99.7
令和2年3月期第2四半期	16,564	△4.8	3,439	△26.6	6,077	△29.2	5,931	△5.7

(注) 包括利益 令和3年3月期第2四半期 22,552百万円 (324.5%) 令和2年3月期第2四半期 5,312百万円 (△27.4%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
令和3年3月期第2四半期	93.24	92.77
令和2年3月期第2四半期	46.90	46.80

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
令和3年3月期第2四半期	160,424	137,495	85.5	1,077.95
令和2年3月期	147,793	122,346	82.5	960.27

(参考) 自己資本 令和3年3月期第2四半期 137,123百万円 令和2年3月期 121,973百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
令和2年3月期	—	0.00	—	61.00	61.00
令和3年3月期	—	0.00	—	—	—
令和3年3月期(予想)	—	—	—	55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

当社は、令和3年4月1日付で普通株式1株につき1.3株の割合をもって株式分割を予定しております。そのため、令和3年3月期(予想)の期末配当金については、株式分割を考慮した金額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の令和3年3月期(予想)の期末配当金は71円50銭となります。

## 3. 令和3年3月期の連結業績予想（令和2年4月1日～令和3年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	51,000	19.6	17,000	20.5	25,000	32.5	18,000	17.6	141.68

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無  
新規 ー社 (社名) ー 除外 ー社 (社名) ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	令和3年3月期2Q	129,268,048株	令和2年3月期	129,268,048株
② 期末自己株式数	令和3年3月期2Q	2,060,888株	令和2年3月期	2,247,868株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	令和3年3月期2Q	127,043,596株	令和2年3月期2Q	126,467,623株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

・当社は、令和2年10月26日（月）にアナリスト向けの決算説明会をオンラインで開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料につきましては、当社ウェブサイトに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報) .....	8
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況にあります。

ゲーム業界におきましては、「東京ゲームショウ」が初のオンライン開催となり話題を呼びました。当社グループでも発売予定タイトルの新情報の発信や『モンスターファーム』の公式大会の様などを配信し、総視聴回数は250万回を超え大いに注目を集めました。

当社は2019年3月期から3ヶ年の中期経営計画を策定し、その最終年度となる2021年3月期は、グループ経営方針として引き続き「グローバルIPの創造と展開」と「グローバルビジネスの飛躍」を掲げ、各種施策に取り組んでおります。

当社グループの当第2四半期連結累計期間における業績は、パッケージゲームの販売やスマートフォンゲームの運営収入に加え、IP許諾によるロイヤリティ収入も伸びました。投資有価証券売却益の実現により営業外収益も好調に推移した結果、売上高231億41百万円（前年同四半期比39.7%増）、営業利益84億47百万円（同145.6%増）、経常利益152億89百万円（同151.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益118億45百万円（同99.7%増）となりました。売上高、営業利益、経常利益、四半期純利益の全ての項目で過去最高の業績を達成いたしました。海外売上高比率は50.2%となり、グローバルビジネスも着実に成長しております。

セグメントの状況につきましては以下のとおりです。

#### **エンタテインメント事業 売上高 216億83百万円 セグメント利益 83億52百万円**

「シブサワ・コウ」ブランドでは、シリーズ35周年記念となるスマートフォンゲーム『三国志 覇道』（iOS、Android用）の配信を9月に日本で開始し、App Store、Google Playの各セールスランキングにおいて20位以内（出典：App Annie）に入り好調な出足となりました。当社がIPを許諾し9月で中国でのサービス開始1周年を迎えた『三国志・戦略版』は、引き続き高い水準で推移しております。

「ω-Force」ブランドでは、任天堂株式会社の『ゼルダの伝説 ブレス オブ ザ ワイルド』の世界観を継承した「無双」シリーズ最新作『ゼルダ無双 厄災の黙示録』（Nintendo Switch用）が11月に発売予定です。スマートフォンゲームでは、一騎当千の爽快アクションを手軽にプレイできる『真・三國無双』（iOS、Android用）を鋭意開発中です。

「Team NINJA」ブランドでは、『仁王2』のダウンロードコンテンツ三部作第一弾「牛若戦記」を7月に配信いたしました。本編は「東京ゲームショウ2020 オンライン」期間中に発表された「日本ゲーム大賞2020」において、前作に続き年間作品部門の「優秀賞」を受賞しております。日本とアジアで配信中の『DEAD OR ALIVE Xtreme Venus Vacation』は、ゲーム内イベントが好評で当四半期の売上が過去最高となりました。8月には新たに国内でもSteam版をリリースしております。

「ガスト」ブランドでは、『FAIRY TAIL』（PS4、Nintendo Switch、Windows(Steam)用）を、7月にワールドワイドで発売し31万本の販売となりました。2019年9月に発売した『ライザのアトリエ ～常闇の女王と秘密の隠れ家～』はリピート販売が着実に伸び、全世界累計出荷本数が50万本を突破しシリーズ最高記録を更新しております。

「ルビーパーティー」ブランドでは、「Neoromance FES 遙かなる時空の中で7 ～初陣！～」と「ネオロマンス・フェスタ 遙か二十年祭」の2つのイベントを初めてオンラインで開催いたしました。配信でも会場さながらの一体感が味わえるよう、コメントの投稿や参加型の企画を実施し合計で2万人の視聴者を集めました。

「midas」ブランドでは、新作スマートフォンゲーム『真・北斗無双』（iOS、Android用）を発表し、事前登録者数は80万人を突破しております。

また、ポータルサービス部では『モンスターファーム2』（Nintendo Switch、iOS、Android用）を9月にリリースし、発売2週間でダウンロード数が8万を超え好調に推移しております。

**アミューズメント事業 売上高 11億85百万円 セグメント利益 34百万円**

アミューズメント施設は、緊急事態宣言明けの6月の営業再開以降は堅調に推移しております。8月には竹芝に新店舗「Digital Park LUXY (ラグジィ)」をオープンいたしました。また、「パチスロ真・北斗無双」がリリースされました。

**不動産事業 売上高 3億61百万円 セグメント利益 65百万円**

ライブハウス型ホールKT Zepp Yokohamaは、7月に営業を開始し感染症対策を徹底した上でライブイベントや配信ライブを開催しております。その他の賃貸用不動産は高い稼働率を維持しております。

**その他事業 売上高 90百万円 セグメント損失 5百万円****(2) 財政状態に関する説明****(資産)**

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末と比較して126億31百万円増加し1,604億24百万円となりました。これは主に、投資有価証券が160億60百万円増加した一方で、売掛金が50億61百万円減少したことによるものであります。

**(負債)**

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末と比較して25億17百万円減少し229億29百万円となりました。これは主に、未払金が48億20百万円増加した一方で、短期借入金が50億円、その他流動負債に含まれている預り金が15億8百万円、買掛金が13億46百万円それぞれ減少したことによるものであります。

**(純資産)**

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末と比較して151億49百万円増加し1,374億95百万円となりました。これは主に、その他有価証券評価差額金が106億円、利益剰余金が40億55百万円それぞれ増加したことによるものであります。

**(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明**

令和2年7月27日に公表した「令和3年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」において、未定としておりました通期連結業績予想を公表いたしました。

詳細につきましては、本日(令和2年10月26日)別途開示いたしました「通期業績予想に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	12,890	12,572
受取手形及び売掛金	11,955	6,893
有価証券	337	7,087
商品及び製品	97	59
仕掛品	4	6
原材料及び貯蔵品	50	51
その他	4,636	4,244
貸倒引当金	△9	△2
流動資産合計	29,963	30,912
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	24,545	24,116
土地	14,615	14,615
建設仮勘定	9	52
その他(純額)	1,572	1,440
有形固定資産合計	40,743	40,224
無形固定資産		
その他	191	240
無形固定資産合計	191	240
投資その他の資産		
投資有価証券	71,350	87,410
繰延税金資産	4,346	434
その他	1,196	1,201
投資その他の資産合計	76,894	89,046
固定資産合計	117,829	129,512
資産合計	147,793	160,424

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (令和2年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (令和2年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,642	296
短期借入金	13,000	8,000
未払金	1,594	6,415
未払法人税等	3,367	2,963
賞与引当金	1,190	1,210
役員賞与引当金	226	116
返品調整引当金	0	0
売上値引引当金	144	132
ポイント引当金	7	4
その他	2,916	2,360
流動負債合計	24,090	21,499
固定負債		
退職給付に係る負債	199	19
繰延税金負債	193	501
訴訟損失引当金	181	181
その他	781	727
固定負債合計	1,356	1,429
負債合計	25,446	22,929
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	26,881	27,103
利益剰余金	88,758	92,814
自己株式	△2,036	△1,872
株主資本合計	128,602	133,045
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,058	7,541
土地再評価差額金	△3,115	△3,115
為替換算調整勘定	130	215
退職給付に係る調整累計額	△586	△563
その他の包括利益累計額合計	△6,629	4,077
新株予約権	373	372
純資産合計	122,346	137,495
負債純資産合計	147,793	160,424

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
売上高	16,564	23,141
売上原価	9,042	9,903
売上総利益	7,522	13,238
販売費及び一般管理費	4,082	4,790
営業利益	3,439	8,447
営業外収益		
受取利息	780	1,715
受取配当金	734	588
投資有価証券売却益	1,967	5,463
デリバティブ評価益	—	1,378
その他	42	347
営業外収益合計	3,525	9,494
営業外費用		
投資有価証券評価損	241	1,201
投資有価証券売却損	345	857
有価証券償還損	80	158
為替差損	184	254
デリバティブ評価損	—	112
その他	35	69
営業外費用合計	887	2,652
経常利益	6,077	15,289
特別利益		
固定資産売却益	1,559	—
特別利益合計	1,559	—
特別損失		
訴訟損失引当金繰入額	181	—
新型コロナウイルス感染症による損失	—	124
特別損失合計	181	124
税金等調整前四半期純利益	7,455	15,165
法人税、住民税及び事業税	1,436	3,744
法人税等調整額	87	△424
法人税等合計	1,524	3,320
四半期純利益	5,931	11,845
親会社株主に帰属する四半期純利益	5,931	11,845

(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自令和2年4月1日 至令和2年9月30日)
四半期純利益	5,931	11,845
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8	10,600
為替換算調整勘定	△619	84
退職給付に係る調整額	9	22
その他の包括利益合計	△618	10,707
四半期包括利益	5,312	22,552
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	5,312	22,552

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成31年4月1日 至令和元年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への 売上高	14,854	1,374	309	16,538	26	16,564
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	18	0	—	18	60	79
計	14,873	1,374	309	16,556	86	16,643
セグメント利益	3,023	304	98	3,426	13	3,439

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。
2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。
2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	3,426
「その他」の区分の利益	13
四半期連結損益計算書の営業利益	3,439

(注) 資産については、セグメントごとの配分は行っていません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自令和2年4月1日 至令和2年9月30日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他	合計
	エンタテインメント	アミューズメント	不動産	計		
売上高						
外部顧客への売上高	21,595	1,184	359	23,139	2	23,141
セグメント間の内部売上高又は振替高	88	0	1	90	88	179
計	21,683	1,185	361	23,230	90	23,321
セグメント利益又は損失(△)	8,352	34	65	8,452	△5	8,447

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ベンチャーキャピタル事業等を含んでおります。
2. 管理部門等の報告セグメントに帰属しない本社費用については、合理的な配賦基準により各報告セグメントへ配賦しております。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	8,452
「その他」の区分の損失	△5
四半期連結損益計算書の営業利益	8,447

(注) 資産については、セグメントごとの配分は行っていません。

## (重要な後発事象)

## 株式分割

当社は、令和2年10月26日開催の取締役会において、株式分割を行うことを決議いたしました。

## 1. 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げ、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整えるとともに、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

## 2. 株式分割の概要

## (1) 分割の方法

令和3年3月31日(水曜日)を基準日として、同日最終の株主名簿に記載又は記録された株主の所有普通株式1株につき1.3株の割合をもって分割いたします。ただし、分割の結果生ずる1株未満の端数株式は、これを一括売却し、その処分代金を端数の生じた株主に対し、その端数に応じて配分いたします。

## (2) 分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	129,268,048株
今回の分割により増加する株式数	38,780,414株
株式分割後の発行済株式総数	168,048,462株
株式分割前の発行可能株式総数	350,000,000株

(注) 株式分割後の発行可能株式総数は、分割以前と同数であり、今回の株式分割における定款の変更はありません。

## 3. 株式分割の日程

基準日公告日	令和3年3月16日(火曜日)
基準日	令和3年3月31日(水曜日)
効力発生日	令和3年4月1日(木曜日)

## 4. 1株当たり情報に及ぼす影響

当該株式分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定した場合の1株当たり情報は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成31年4月1日 至 令和元年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 令和2年4月1日 至 令和2年9月30日)
	円 銭	円 銭
1株当たり四半期純利益	36.08	71.72
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	36.00	71.37